

資料館だより

2026年 秋 号

contents

- 春の特別講演会・企画展、館長挨拶 …… 1
- 行事報告、14歳の挑戦…………… 2
- 夏休みイベント …………… 3
- 資料館ニュース、インフォメーション…… 4

春の特別講演会・企画展

令和8年4月29日(水・祝)

資料館では、開館記念日に合わせて4月29日（水・祝）に、春の特別講演会を開催しました。この講演会では、三小田憲史氏（富山県立大学工学部環境・社会基盤工学科講師）に「現代の環境汚染問題と対策のための調査研究」と題し、河川・海域における化学物質やマイクロプラスチック等による環境汚染問題について、これまでの研究内容やその研究を通して得られた知見、今後の課題等について講演いただきました。

講演では、汚染物質の効率的な除去や環境リスク低下につなげる研究の紹介のほかにも「今後は環境技術の継承や次世代を担う人材の育成が重要」であることを強調され、45名の参加者は真剣に耳を傾けていました。

また、4月24日（金）～5月6日（水・振休）には、資料館1階展示室



野田館長の挨拶



三小田講師の講演



質疑応答の場面

通路にて『立ち上がった住民、取り戻した清流』写真展を開催しました。

ゴールデンウィーク期間中の開催ということもあり、県外からの来館者が多く、一枚一枚熱心に写真を眺めていました。

「春の特別企画展」を同時開催



写真展

特別講演会参加者の声

- ・タイムリーにこのごみ問題の講演を聴くことができ良かったです。気になるマイクロプラスチックのごみ対策を自宅からこつこつと注意します。（50歳代）
- ・まだまだ未知のことが多く、重点的な研究の必要性を強く感じました。（60歳代）
- ・現在の環境汚染についての研究の先端を知ることができて有意義でした。プラスチック問題では環境への流出を防ぐだけでなく、総量も減らさないと汚染の広がりは避けられないと思いました。（70歳以上）

あらためて水質汚染と人間の営みを考える

富山県立イタイイタイ病資料館 館長 野田 八 嗣



水質汚染は、日々の生活や特に産業活動と経済成長など人間の営みから出る物質が河川や地下水、海へと流れ込むことが主な原因です。わが国では、高度経済成長期にイタイイタイ病（イ病）も含めて公害が社会的な大問題となり、1967年に公害対策基本法、1970年には水質汚濁防止法が制定されました。

イ病の原因は、神通川上流の神岡鉱山から流出したカドミウム（Cd）でした。また、Cd以外にも亜鉛や鉛などの重金属も流出していました。さらに、鉱山では、化石燃料が大量に使用されていたため、酸性雨や亜硫酸ガスなどにより周囲の山林は枯れ、草木も生えない状態となっていました。当時の神通川の水質は、極めて劣悪な状況になっていたと思われます。現在は、地域住民のみなさんと原因企業そして行政側の絶え間ない努力

で神通川の清流は甦っています。

わが国の水質汚染は改善しつつあります。しかし、近年は、PFOSやPFOAなどのPFAS（有機フッ素化合物）が問題となっています。これらの物質は、撥水撥油剤、界面活性剤、泡消火薬剤、半導体製造など多くの用途で利用されてきました。一方、PFASの多くは、分解されにくく長期残留しやすい性質があり、健康被害が強く懸念されてきました。現在では、PFOSとPFOAなどは、「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」により製造・輸入が原則禁止されています。その他、マイクロ・ナノプラスチック、水の富栄養化による藻の大量発生や赤潮・青潮などまだまだ多くの問題があります。

水質汚染対策は、人間社会のあり方そのものとして、今後とも常に考え続けていかねばならない重要な問題と言えます。

語り部及び解説ボランティア研修会

6月27日（土）に語り部及び解説ボランティア向けの研修会として、四日市公害と環境未来館主幹の栗田朋子氏をオンラインで招いて、「四日市公害について」と題して講演いただきました。栗田主幹は、「コンビナートが本格稼働直後から悪臭の問題が起こり、電車が故障と勘違いして緊急停車するくらいひどい状態であった」ことや「コンビナート周辺の住民からぜん息症状が現れたことが問題の発端となったが、当時は法律が十分に整備されておらず対応が遅れた」ことなどを話されました。

その後、参加者から、「四日市市では、過去に住民の立ち入り調査が行われていた時期があったが現在は行われていない」こと、「弁護士は立ち入ることができたが、イタイイタイ病ほど立ち入り調査はされていなかったと思われる」など、地元の取り組みと比べながらの活発な質疑応答があり、有意義な講演となりました。



栗田主幹の講演



質疑応答の場面

イタイイタイ病資料館活用研修会



▲水上先生の総括



三原教授の
指導助言▶



ワークショップで意見交換



◀宮崎校長の
指導助言



展示室
自由見学

8月4日（火）、イタイイタイ病を教材にした学習の可能性を探り、資料館の副読本やワークシート等の資料を有効に活用するための研修会を開催したところ、県内13小中学校から15名の先生方が参加されました。

最初に、資料館が提供する学習メニューや副読本などの学習資料を紹介し、展示案内のホームページ画像等で資料館利用の説明した後に、展示室の自由見学を行いました。その後、富山国際大学の三原茂教授と小矢部市立大谷小学校の宮崎靖校長の指導助言のもと、2つのグループに分かれた先生方は、展示物や資料から児童生徒がどのような感想、問いを持つかを予測しながら、資料館や副読本等を利用した授業の進め方について意見交換をしました。児童生徒が受け身となるのではなく、自分事として、当時の自然や社会、もの、人、できごとに働きかけていくようにするにはどうあればよいかと、先生方は真剣に考えをめぐらせていました。

最後に、元富山国際大学教授の水上義行先生は、「当資料館は、一級の教材であり、イタイイタイ病をとおり、私たちは歴史を正していくなど、社会の理想を追うことが大切である。」と総括され、イタイイタイ病を題材とする教育の在り方について助言をいただきました。

社会に学ぶ「14歳の挑戦」

7月7日（火）から10日（金）の間、「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」として、富山県立興南中学校の2年生3名を受け入れました。「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」とは、中学2年生が、学校外での職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に参加することにより、規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、生涯にわたってたくましく生き抜く力を身に付けることを目的としたものです。3名の生徒は、イタイイタイ病にかかわる説明を聞いたり、仕事を手伝ったり、来館者への説明を補助したりしました。来館した小学生から、中学生の説明が分かりやすかったという声をたくさんいただきました。

イタイイタイ病の悲惨さや恐ろしさ、一度壊れてしまった環境を取り戻すために懸命に戦った人々の必死さを感じることができました。また、来館された団体様に展示物の解説をすることで、人に解説するとき大切にしていることを職員の方から直接学ぶことで、自分の学びを更に深めることができました。

職場体験で学んだことをこれからの生活や将来に生かしていきたいと思います。

（職場体験した生徒の手紙より抜粋）





資料館の夏休みイベントを行いました

富山の将来を担う子どもたちがイタイタイ病や環境の大切さについて学びました



イタイタイ病を学ぶ 日帰りバスツアー



神岡鉱業の建物内で記念撮影



清流会館での語り部講話

夏休みイベントの一つとして開催した「イタイタイ病を学ぶ日帰りバスツアー」には、県内の小学4・5・6年生児童とその保護者6組14名が参加して、イタイタイ病に関係のある場所を巡りながら公害病を克服してきた歴史を学習しました。

資料館に集合した参加者家族は展示解説を聴いてから飛騨市に所在する神岡鉱業株式会社に向けて出発しました。

神岡鉱業の工場では排水管理センターやシックナー（凝集沈殿装置）、たい積場を見学し、「環境安全最優先」の方針の下に、工場からの排水管理が徹底されているのを見てきました。

午後は、富山市大沢野グラウンド駐車場を出発点とし、牛ヶ首用水上流を回り、カドミウム汚染から復元された地域をバスで巡りました。バスの中で、イタイタイ病対策協議会の平岡孝進事務局長の説明を聴きながら見学し、安全で良質な米作りのための努力と工夫を学びました。

最後に被害者団体の拠点施設「清流会館」では、イタイタイ病対策協議会の江添良作会長の講話を聴き、病気の実態と患者救済の歩みを教わりました。

猛暑の中でしたが全員が元気に資料館へ戻り、バスツアーを終えることができました。

開催日時：7月28日（火）＜8時40分～16時40分＞

見学場所：① 資料館

→② 神岡鉱業（排水管理センター、シックナー、和佐保たい積場）

→③ 牛ヶ首用水上流 → ④ 清流会館 → ⑤ 資料館

参加者の声

- ・非常によかったと思います。カドミウムや神岡鉱業のことなどいろいろ分かりました。特に神岡鉱業ではイタイタイ病が発生して今は何をしているかを知れてよかったです。（小学5年生）
- ・イタイタイ病について詳しく知れたし、イタイタイ病がどのようにしてなったのか、またイタイタイ病の特ちょうなど初めてのことを知れてよかったです。（小学6年生）
- ・教科書を読むだけではあまり見えてこなかった患者や住民の思いなども感じることができました。こんなにすばらしいので、もっと多くの人に参加してほしいと思いました。親の私も大変勉強になりました。（30歳代保護者）
- ・イタイタイ病は知っていたけど患者さんの苦しみがどれほどひどく苦しいものだったのか知ることができました。（40歳代保護者）

夏休み自由研究講座 ～イタイタイ病の学習と川の水質調査～

小学4・5・6年生対象にした「夏休み自由研究講座」には、5組10名の親子が参加しました。

ガイダンス映像を視聴した後、資料館職員の解説を聴きながら展示室を回りました。

神通川流域の農村に病気が発生した時期や要因を教わり、病気に苦しむ患者と家族の様子を再現したジオラマを見学しました。

さらに、地元の萩野医師たちによる病気の原因究明の努力、被害住民たちが団結して裁判勝訴にいたるまでの過程、その後の汚染農地の復元事業や今も続く発生源対策の取組みについて学習し、イタイタイ病の歴史や環境と健康の大切さに理解を深めました。

後半の「川の水質を調べる実験」では、薬学博士の朴木英治氏に「紫キャベツの色水遊び」と題して、面白実験を演示していただいた後、富山市内を流れるいたち川の中流から下流まで5箇所まで採水した川水の汚れを試薬液で測り、地点ごとの数値を比較しました。

初めて扱う簡易測定器に手こずりながらも、参加者は真剣に実験に取り組んでいました。

閉講式では野田館長から参加児童全員に修了証が授与され、自由研究にも役立つ有意義な夏休みの思い出になりました。

開催日時：8月1日（土）＜13時30分から16時30分＞

内 容：①イタイタイ病についての学習

②川の水質を調べる実験（講師：薬学博士 朴木英治氏）

参加者の声

- ・イタイタイ病の恐ろしさや四ツ屋橋の下を流れる川の水の安全度などを知れてよかったです。（小学5年生）
- ・昨年バスツアーに参加し、今回この自由研究講座でイタイタイ病をより詳しく知れたのでうれしかったです。（小学5年生）
- ・イタイタイ病について詳しく学べてとてもよいと思いました。水質の実験もできて楽しかったです。夏休みの自由研究に役立てたいです。（小学6年生）
- ・水質検査の内容が大変よく分かりました。富山市内の水が上流から下流まで大変きれいなことも分かり、子どもと一緒に勉強になりました。（50歳代保護者）
- ・イタイタイ病について深く学ぶことができ、さらに身近な川の水質実験を行って環境保全への関心を持つことができました。（50歳代保護者）



イタイタイ病の説明



講師からの演示実験



全員に修了証の授与

資料館ニュース

公民館、長寿会、民生委員、人権擁護、 社会福祉等の団体から来館者多数

近年、各都道府県の公民館等から、多数の来館があります。昨年度は、約20の団体利用がありました。来られた方から、「模型など設備がとても整っていて、分かりやすく説明を聞けました。」「このようなすばらしい施設があることを知らなかった。もっと多くの人に知ってほしい。」「詳しい説明で、家族や本人の苦しみ分かりやすく伝わりました。初めての来館ですが、来てよかったです。」等の感想をいただいております。

申込み等の詳細は、当資料館のホームページをご覧ください。お待ちしております。



展示物の説明を聴く様子



語り部講話を聴く様子

資料館インフォメーション

四大公害病の語り部講話を聴く集い ～語り部による伝承会～

四大公害病（水俣病、新潟水俣病、四日市ぜんそく、イタイイタイ病）の資料館からそれぞれの語り部を招いて、語り部4人の講話をお聴きします。四大公害病の語り部講話を一度に聴講できる貴重な機会です。

日時：10月24日（土）13:30～16:30
場所：イタイイタイ病資料館 2F 交流学習ルーム
人数：会場参加 50名程度 オンライン聴講可
＜参加無料＞

これまでの出来事（令和8年度上半期）

令和8年

- 4月24日（金）～5月6日（水・振休） 春の特別企画展
『立ち上がった住民、取り戻した清流』写真展
- 4月29日（水・祝） 春の特別講演会
- 6月27日（土） 語り部及び解説ボランティア研修会
- 7月28日（火） イタイイタイ病を学ぶ日帰りバスツアー
- 8月1日（土） 夏休み自由研究講座
～イタイイタイ病の学習と川の水質調査～
- 8月4日（火） イタイイタイ病資料館活用研修会

これからの行事予定（令和8年度下半期）

10月24日（土） 四大公害病の語り部講話を聴く集い
～語り部による伝承会～

令和9年

2月14日（日） イタイイタイ病を考える県民フォーラム
（講演、学習発表等）



イタイイタイ病資料館で語り部講話を聴講しませんか。

資料館を団体（原則10名以上）で見学される場合は、事前に申し込みいただくと、イタイイタイ病に関して貴重な体験をされた語り部さんの講話を聴くことができます。
詳しくは資料館ホームページをご覧ください。

メールマガジン 【登録者募集中】

資料館の最新情報などをお伝えするメールマガジンを配信しています。配信を希望される方は、次のメールアドレスあてにメールを送信してください。【mlhope@itaiitai-dis.jp】

発行／富山県立イタイイタイ病資料館

（令和8年9月発行）

〒939-8224 富山県富山市友杉151番地（とやま健康パーク内）

電話▶076-428-0830 FAX▶076-428-0833

ホームページ

イタイイタイ病資料館

検索

富山県